

科目名	実習	整理番号	
学科	ファッションクリエイターアドバンス学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターアドバンスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	300	作成者	酒井 知可子

【科目の到達目標】

既製服の製造工程を知り、仕様書が的確に書ける力を付ける。
就職試験に対応できる人材の育成。

【科目の概要】

基本的アイテムの製作を通して、服の構造を把握してアパレル業界のあらゆる職種・職場に対応できる力を付ける。

スカート・ワンピース・ブラウス・パンツ・テーラードスーツ・ショールカラージャケットを製作。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1～21	タイトスカート又は セミタイト 製図・裁断・仮縫い 補正・縫製 ベルト付き		75～85 RTWパンツ パターン製作・トワール組み立て 工業用パターン製作・縫製
22～55	ワンピース 製図・裁断・仮縫い 補正・縫製 説明コンシールファスナー使用可		86～87 部分縫い 箱ポケット袋縫い ステンカラーハ刺し 89～116 RTWショールカラージャケット パターン製作・トワール組み立て 工業用パターン製作・縫製 裏ナシ
56～74	RTWブラウス パターン製作・トワール組み立て 工業用パターン製作・縫製		説明(半裏・背ぬき) 117～142 RTWテーラードスーツ(ジャケット) 有り型 143～150 RTWテーラードスーツ(スカート) パターン製作・トワール組み立て 工業用パターン製作・縫製

【成績評価方法】

課題作品の9点の評価60%・期末試験30%・授業態度10%

【教科書・参考書】

上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版
『スカート』『ワンピース』『ブラウス』『パンツ』『ジャケット』上田安子服飾専門学校

【教材・教具】

洋裁用具一式

科目名	パターンメイキング I -A	整理番号	
学科	ファッションクリエイターアドバンス学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターアドバンスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習80%
時間数	180	作成者	酒井 知可子

【科目の到達目標】

レディス、メンズ、子供服の各アイテムを製図して、構造を理解し、パターンで表現できる実力を培い、就職試験に対応出来る基礎を付ける。

【科目の概要】

デザイナー・パターンナーとして、あらゆる服種の基本的なものから最新のデザインのものまで対応できる力を養成する。パターンを学ぶことにより、クリエイション力を伸ばす。

レディス、メンズ、子供服の各アイテムを実寸を基本として、製図を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2	さしの見方・採寸・タイトスカート原型	61・62 4面体ショールカラージャケット(トワール組)
3・4	身頃原型・カット移動・ダーツの補正	63・64 JK 工業用パターン(表地)
5・6	各種スカート	65・66 台襟シャツカラー (トワール組)
7・8	各種の襟ぐり	67・68 ブラウス研究
9・10	各種スカート・袖	69・70 ブラウス研究
11・12	ブラウス	71・72 メンズパンツ
13・14	ワンピース	73・74 サーキュラースカート
15・16	各種の襟	75・76 ジャケットマンプレ
17・18	キモノ袖原型・ワンピース	77・78 ジャケットマンプレ
19・20	ブラウス	79・80 JK 工業用パターン(裏地)
21・22	ステンカラー ・ワンピース	81・82 スカート工業用パターン
23・24	テーラードカラー・二枚袖	83・84 ジャケット研究
25・26	ショールカラー	85・86 総復習
27・28	ラグランスリーブ	87・88 後期試験
29・30	ツーピース	89・90 まとめ
31・32	ツーピース・ベスト	
33・34	コート・キュロットSK原型・キュロットドレス	
35・36	ツーピース・コート	
37・38	スラックス原型 パンツスーツ	
39・40	ダーツの操作のバリエーション	
41・42	パンツのバリエーション	
43・44	袖・襟のバリエーション	
45・46	パンツ発表・ハイネックのOP	
47・48	子供服原型	
49・50	子供服シャツ	
51・52	囲み身頃原型	
53・54	ビーチウェア	
55・56	囲み身頃原型トワール組・ブラウス	
57・58	レディス・メンズジーンズ	
59・60	テーラードJK・まとめ	

【成績評価方法】

課題作品の評価60%

期末試験30%

授業態度10%

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版 山路俊美『図解紳士服製図・型紙の作り方』最新版

『パターンメイキング I -①②』服飾手帖社 最新版 江副玲子『パターンメイキング2年・3年』最新版

【教材・教具】

製図用具一式

トワール・

科目名	ファッションドローイング I	整理番号	
学科	ファッションクリエイターアドバンス学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターアドバンスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	60	作成者	高木義隆・立嶋滋樹

【科目の到達目標】

デザイン画などのビジュアルツールで自分のイメージを確認し、他者とのコミュニケーションをはかれる様になる。

【科目の概要】

ファッションクリエイターが他者とイメージをやり取りする為のデザイン画(視覚化)を製作するための、絵画的な基礎(理論・技術)の習得・応用を目的とする。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	オリエンテーション(デザイン画の目的)	16	デザイン画選手権 制作1
2	比率・人体のプロポーション	17	デザイン画選手権 制作2
3	ボディを描く1	18	柄の表現1
4	ボディを描く2	19	柄の表現2
5	ボディーの着色	20	パーツ・金属の表現1
6	顔のプロポーション、髪、靴	21	パーツ・金属の表現2
7	デザイン画の着彩	22	メンズボディ
8	デザイン画の着彩・仕上げ	23	メンズデザイン
9	ドレープ・プリーツ・ギャザーの表現	24	ハンガーイラスト
10	生地・素材の描き分け1	25	「プレゼンテーションブック」課題のオリエンテーション
11	生地・素材の描き分け2	26	「プレゼンテーションブック」の製作1
12	生地・素材の描き分け3	27	「プレゼンテーションブック」の製作2
13	デザイン情報の収集と管理	28	「プレゼンテーションブック」の製作3
14	デザイン発想の技術	29	「ブック」プレゼンテーション(発表)
15	学期末テスト(テスト週に行う場合は、前週と同内容とする)	30	学期末テスト

【成績評価方法】

授業内での提出物(半期5~7点)の評価と、学期末テストの合計

【教科書・参考書】

『F・クリエイション・ドローイング』 立嶋滋樹 服飾手帳社

【教材・教具】

スケッチブック・クロッキーノート・ケント紙・鉛筆類など描画材・デザインガッシュなどの絵の具類
ファッション雑誌など

科目名	ファッションデザイン論 I	整理番号	
学科	ファッションクリエイターアドバンス学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターアドバンスコース		昼間
学年	1	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	30	作成者	藤原 博之

【科目の到達目標】

ファッション商品知識を知り、デザイン・商品企画に反映できる。
またオリジナリティを感じるデザインの追及とクオリティの高い制作物を作成する。

【科目の概要】

デザインをする上で必要な商品知識・デザインの知識を、デザイン画や企画資料としてまとめる。
ファッションデザインを理解できるように各アイテムを研究しデザイン内容の充実を図る。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1	デザイン概要	16 デザイン研究④
2	デザイン研究①	17 デザイン研究⑤
		18 デザイン研究⑥
3	シャツ・ブラウスのデザイン①	
4	シャツ・ブラウスのデザイン②	19 コートのデザイン①
5	シャツ・ブラウスのデザイン③	20 コートのデザイン②
		21 コートのデザイン③
6	スカート・パンツのデザイン①	
7	スカート・パンツのデザイン②	22 ファッション小物のデザイン①
8	スカート・パンツのデザイン③	23 ファッション小物のデザイン②
		24 ファッション小物のデザイン③
9	デザイン研究②	
10	デザイン研究③	25 商品企画①
		26 商品企画②
10	ワンピースのデザイン①	27 商品企画③
11	ワンピースのデザイン②	28 商品企画④
12	ワンピースのデザイン③	29 商品企画⑤
		30 商品企画⑥
13	ジャケット・ブルゾンのデザイン①	
14	ジャケット・ブルゾンのデザイン②	
15	ジャケット・ブルゾンのデザイン③	

【成績評価方法】

課題評価点60%、期末試験30%、平常点10%を100点満点で評価する。

【教科書・参考書】

高村是州『スタイリング・ブック』グラフィック社、文化出版局『ファッション辞典』

【教材・教具】

筆記用具、のり、はさみ、A4判ノート、着彩用具
PC、パワーポイントなど

科目名	ファッションビジネス論 I	整理番号	
学科	ファッションクリエイターアドバンス	期	前期
コース	ファッションクリエイターアドバンス コース		昼間
学年	2	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	30	作成者	中村 賢

【科目の到達目標】

アパレル業界で必要な知識の構築。

【科目の概要】

時代背景をまとめた画像と動画を元に講義。定期的に4度のテストで重要項目を確認。

【授業計画】

90分/コマ

前期

後期

- | | |
|----|--|
| 1 | 【オートクチュールとプレタポルテ】
【ファッション界をリードする世界5大コレクション】 |
| 2 | 【世界のラグジュアリーブランド勢力地図】
【デザイナーを支える世界の見本市】 |
| 3 | 【業界人必見のファッション見本市JFW-IFF】
【マーケティング】 |
| 4 | 【ブランド開発】 ⇒ 7項目小テスト |
| 5 | 【日本の合繊産業】【紡績】 |
| 6 | 【テキスタイル産地】【染色加工業】 |
| 7 | 【商社】【構築進むSCM】 |
| 8 | 【重要性高まる物流、加工】 ⇒ 7項目小テスト |
| 9 | 【戦後日本のアパレル産業史】
【技術革新の波に乗り合繊登場】 |
| 10 | 【既製服化ノ向上ヲ支えた小売業】【舶来からインポート |
| 11 | ⇒ 4項目小テスト【ファッションの流れ1970～1980】 |
| 12 | 【ファッションの流れ1980～1990】 |
| 13 | 【ファッションの流れ1990～2000】 |
| 14 | 【ファッションの流れ2000～2015】 |
| 15 | テスト |

【成績評価方法】

提出物評価30% テスト30% プレゼンテーション20% 授業態度20%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具

科目名	コンピュータ演習 I	整理番号	
学科	ファッションクリエイターアドバンス学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターアドバンス コース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	30	作成者	鶴鉄雄

【科目の到達目標】

Illustrator&Photoshopのデザインソフト活用技術を修得し、正確な指示書などに必要なハンガーイラスト、指示イラストがツールを使って作成できる。
前期からの引き継ぎで応用したワークをまとめ、アピール度の高いポートフォリオを作成できる。

【科目の概要】

このコンピュータ演習授業では様々な情報から役立つものを発見し、価値を明確にし、使いやすく加工して活用する一連の知識や技術を修得する。
ファッション業界においての必要なソフトを活用し、各自の作品の中に取り込むための利用手順などを理解する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	自己紹介（現在の思いとタテ糸ヨコ糸）★	16	商品企画シートをまねる
2	メールアカウント設定と課題提出方法 Googleクラスルーム	17	①ターゲット市場分析マップ★6
3	// ビジネスメール★2	18	
4	イメージマップ基礎(Photoshop)	19	②商品企画コンセプトマップ★7
5	// 写真の切抜きと合成 // イメージマップ完成★3	20	
6	// プリント生地作成	21	③月別スタイリング提案表(3月・5月)★8
7		22	
8	ハンガーイラスト基礎(Illustrator) // ペンツール スカートバリエーション	23	④スタイリングデザイン(手書きのデザイン画)★9
9	// ワンピースバリエーション // 写真を下絵に書き起こし★4	24	
10		25	⑤スタイル提案(ハンイラとデザイン画着色)★10
11		26	
12	縫製仕様書★5 // 表の作成と文字入力	27	ポートフォリオ作成
13	ハンガーイラスト貼付け	28	
14	まとめ	29	プレゼンテーション
15	テスト イメージマップとハンイラ (課題提出★1～5)	30	テスト (課題提出★6～10)

【成績評価方法】

提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

Webの教材を使用

【教材・教具】

メモリフラッシュ 筆記用具

科目名	ベーシック	整理番号	
学科	ファッションクリエイターアドバンス学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターアドバンスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	60	作成者	中西 學

【科目の到達目標】

色彩の基本理解と課題制作を通して創作の視点と発想力を高める。
服は造形物であるという概念で立体構成の方法論を服飾に反映させる。

【科目の概要】

テキスト「デザインの色彩」の基礎学習と絵具(デザインガッシュ)で課題制作を行ないファッションイメージへ展開主にケント紙を素材にして立体の基本と応用の課題制作を行ない、造形の美しさを表現する。

【授業計画】 90分/コマ 前期

- [色彩構成]
- 1・2 基本配色Ⅰ『明度・彩度対比の配色』
- 3・4 コスチューム・ポーズのデザイン
- 5・6 明度・彩度段階の配色
- 7・8 基本配色Ⅱ『ファッションイメージとトーン』
- 9・10 ファッションモードの資料作成
- 11・12 トーンの理解と配色
- 13・14 イメージ配色Ⅰ『テキスタイル・イメージ』
- 15・16 テキサスタイル・イメージのイメージ
- 17・18 イメージカラーの配色
- [立体構成]
- 19・20 『直線構成の山折り・谷折り』
- 21・22 『曲線構成の山折り・谷折り』
- 23・24 『形のバリエーション制作』
- 25・26 幾何学的な形と有機的な形の理解
- 27・28 『ユニット(単位形)の集合体』
- 29・30 修業テスト

【成績評価方法】

課題作品 8点の評価 60 % 期末試験 30 % 授業態度 10 %

【教科書・参考書】

テキスト『デザインの色彩』日本色研 監修 日本色彩研究所 部分改訂2版13刷 2010年
資料プリント『美の構成学・バウハウスからフラクタルまで』三井秀樹 著 中公新書 2011年(第10版)

【教材・教具】

デザインセット(デザインガッシュ絵具/パレット/筆/筆洗) スケッチブック. 配色カード. 定規. 雲形定規. コンパス等
カッターナイフ. 定規. コンパス. メンディングテープ. カッティングマット. ケント紙. 接着剤 など

教科名	服飾素材論	整理番号	
学科	ファッションクリエイターアドバンス学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターアドバンスコース		昼間
学年	1	授業形態	講義100% 実習 %
時間数	30	作成者	河本 育子

【授業の到達目標】

ファッション業界での素材の位置づけ、役割を体系的に理解し、素材の知識を深めていく。
市場動向や消費者のニーズを読み取り、コンセプトにあったデザイン、素材に落とし込めるようになる。

【授業概要】

講義により、アパレル繊維知識の体系的理解を深めていく。
ファッショントレンドと素材の関連性について、市場の動向を踏まえ解説する。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 オリエンテーション
素材とファッショントレンドの関係について
- 2 アパレル製品の生産流通経路
- 3 基本素材の特徴(原料・組成)
- 4 ■繊維の種類と特性
天然繊維(植物繊維)
- 5
- 6 天然繊維(動物繊維)
- 7
- 8 化学繊維(再生繊維・半合成繊維)
- 9 化学繊維(合成繊維)
- 10 ■素材の機能性
- 11 ■糸の種類と太さ
- 12 ■布地 織物・編物
- 13 ■生地加工 染色・プリント・仕上げ
- 14 総復習(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

平常点(授業態度)20%,理解力(総合テスト)80%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

- ・一見 輝彦『わかりやすいアパレル素材の知識』ファッション教育社1998年
- ・田中道一『洋服地の事典』関西衣生活研究所

【教材・教具】

筆記用具

科目名	服飾史	整理番号	
学科	ファッションクリエイターアドバンス学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターアドバンスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 80% 実習 20%
時間数	30	作成者	杉本 晋一

【科目の到達目標】

時代によって変遷する服飾デザインと人間の志向してきたイメージを理解する。
また、その時代背景や美術・建築・風俗などの文化状況との関連性から文化装置としてのファッションの意義と役割を考察できる知識を習得する。

【科目の概要】

服飾の起源から現代にまでつながる服飾デザインの変遷を図版・絵画・写真・映画などのビジュアル資料から学んでゆく。
また、身体と服飾の相関性、服飾デザインから読み取れる記号的な意味を理解しデザインソースとして生かしてゆく。

【授業計画】 90分/コマ

- | | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 服飾史概論1 |
| 2 | 服飾史概論2 |
| 3 | 服飾の始原
原始の服飾 |
| 4 | 古代エジプトの服飾
古代ギリシア・ローマの服飾 |
| 5 | ゲルマン民族の服飾
中世・中世末期の服飾
演習 |
| 6 | ルネッサンス(イタリア・ドイツ)の服飾 |
| 7 | ルネッサンス(スペイン・英仏)の服飾
演習 |
| 8 | バロックの服飾 |
| 9 | ロココの服飾 |
| 10 | フランス革命の服飾
演習 |
| 11 | ロマンチック時代の服飾 |
| 12 | 19世紀後半から20世紀初頭の服飾 |
| 13 | デザイナーの登場
シャネルとスキャパレリ |
| 14 | テスト |
| 15 | 戦後から現代の服飾 |

【成績評価方法】

平常点 20% 課題20% 期末試験 60%

【教科書・参考書】

小西松茂『西洋服飾史』服飾手帖社 昭和50年,

【教材・教具】

筆記用具

科目名	クロッキー	整理番号	
学科	ファッションクリエイターアドバンス学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターアドバンスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 10% 実習 90%
時間数	30	作成者	立嶋滋樹

【科目の到達目標】

ファッションデザインに必要なイメージスケッチ、デザイン画制作の為の絵画技術と知識の理解、習得。加えて、観察力の向上を目指す。

【科目の概要】

対象物を観察し自ら手を動かして表現することを通じ、オリジナルな表現のための基本的な技術を習得する。交替で学生モデル、プロモデル等を描く。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 線の引き方
- 2 プロポーションと頭身割
- 3 骨格、筋肉と、重心
- 4 遠近法
- 5 正中線
- 6 量感と回り込み
- 7 コンテで描く1
- 8 コンテで描く2
- 9 筆で描く1
- 10 筆で描く2
- 11 ヌードクロッキー
- 12 細部のクロッキー、顔、髪、手
- 13 アングル、俯瞰と仰瞰
- 14 動きのあるポーズ
- 15 大きなクロッキー

【成績評価方法】

クロッキー課題90%、授業態度(出席率等)10%。以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

『ファッションイラストレーション』立嶋滋樹、服即事社。『服即事形教件書』『ハンド教件書』上田女子服即事門
学誌。『洋裁』、『縫い方全書』上田女子 服飾出版社。『人体のデッサン技法』ジャック・ハム(著) 嶋田忠彦(改)

【教材・教具】

クロッキー帳、鉛筆、筆ペン、コンテ、マーカー、色鉛筆。

科目名	パターンメイキング I - B	整理番号	
学科	ファッションクリエイターアドバンス学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターアドバンスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習80%
時間数	60	作成者	安田 圭織
【科目の到達目標】			
様々な会社の就職試験に対応できるパターンメイキングの応用力をつけ、ジャケットやブラウスなどのパターンを工業用パターンへと展開できる。			
【科目の概要】			
パターン力の応用、就職問題の分析・活用			
【授業計画】 90分/コマ			
1・2	概論・前期復習 タイトスカート2本ダーツスローパー作り		
3・4	" トワール組 " アイロン方法 組み方復習		
5・6	タイトスカートスローパーよりヨークフレアースカートへ展開 " トワール組		
7・8	" 工業用パターン "		
9・10	身頃バリエーション6種 " パターン作成		
11・12	" トワール組(3種) 企業試験例のデザイン		
13・14	ブラウス研究 就職活動用 " トワール組		
15・16	" 工業用パターン作成 "		
17・18	" "		
19・20	" "		
21・22	ジャケット研究 " パターンチェック		
23・24	" トワール組 " 裏地パターン		
25・26	" 表襟・見返し展開 " 工業用パターン作成		
27・28	" "		
29・30	まとめ 後期試験		
【成績評価方法】			
課題作品の評価60%			
期末試験30%			
授業態度10%			
【教科書・参考書】			
上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版 『製図 I』服飾手帖社 最新版 江副玲子『パターンメイキング2年・3年』最新版			
【教材・教具】			
製図用具一式 トワール			

科目名	ファッションデザイン論 I -B	整理番号	
学科	ファッションクリエイターアドバンス学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターアドバンスコース		昼間
学年	1	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	林 和子

【科目の到達目標】

ファッションデザインにおいて、必要な資質であるヴィジュアル・リサーチ能力を徹底的に学ぶ。どんなデザイナーにも何もないところから創造することは出来ない。創造力を働かせるために、デザイン・プロセスを推し進め、新たなインスピレーション源を発掘し、斬新な発想をカタチにする。

【科目の概要】

自身のイメージをファッションで表現する為に必要なデザイン力と表現力を学ぶ講義と演習

【授業計画】

90分/コマ

前期

後期

- | | | |
|--|----|----------------------|
| | 1 | デザイン論選択概要説明 |
| | 2 | コレクションから市場へのトレンドの流れ |
| | 3 | アイデアの作り方 |
| | 4 | 4つのステップ |
| | 5 | SSトレンド情報 |
| | 6 | トレンド①からのデザイン |
| | 7 | トレンド②からのデザイン |
| | 8 | トレンド③からのデザイン |
| | 9 | トレンド④からのデザイン |
| | 10 | トレンド⑤からのデザイン |
| | 11 | トレンド⑥からのデザイン |
| | 12 | トレンド⑦からのデザイン |
| | 13 | 情報からのアイデア①トレンドカラー |
| | 14 | 情報からのアイデア①トレンドカラー |
| | 15 | 情報からのアイデア②トレンドアイテム |
| | 16 | 情報からのアイデア②トレンドアイテム |
| | 17 | アイデアからのデザイントレンドアイテム① |
| | 18 | アイデアからのデザイントレンドアイテム① |
| | 19 | アイデアからのデザイントレンドアイテム② |
| | 20 | アイデアからのデザイントレンドアイテム② |
| | 21 | デザインからの情報① |
| | 22 | 資料集め |
| | 23 | デザインからの情報② |
| | 24 | テーマ |
| | 25 | デザインからの情報③ |
| | 26 | コンセプト |
| | 27 | デザインからの情報④ |
| | 28 | 構成 |
| | 29 | まとめ |
| | 30 | プレゼン(テスト) |

【成績評価方法】

課題60% 試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】 『ファッションニュース』株式会社INFASパブリケーション

Simon Seivewright『ファッションデザイン・リサーチ』株式会社ビー・エヌ・エヌ新社2011年

Robert Leach『FASHION DESIGN RESOURCE』株式会社ビー・エヌ・エヌ新社2013年

【教材・教具】

筆記用具 専用ノート 参考プリント 画材

ファッション週刊誌WWDジャパン